

当月のS&P MLP 指数の動き

1月のS&P MLP 指数(米ドルベース/トータルリターン)は、前月末比+4.0%と2ヵ月ぶりの上昇となりました。

リビアでの主要油田の操業停止や米国での堅調な経済指標の発表などを受け、原油先物が上昇する中、MLPも上昇基調となりました。中旬にかけては、FRB(米連邦準備制度理事会)高官による早期利下げ観測を牽制する発言などを背景に長期金利が上昇し、米国株式が下落する中、MLPも下落したものの、月末にかけては、米経済が軟着陸に向かうとの期待の高まりを受けて米国株式や原油価格が上昇するとともに、MLPも上昇しました。

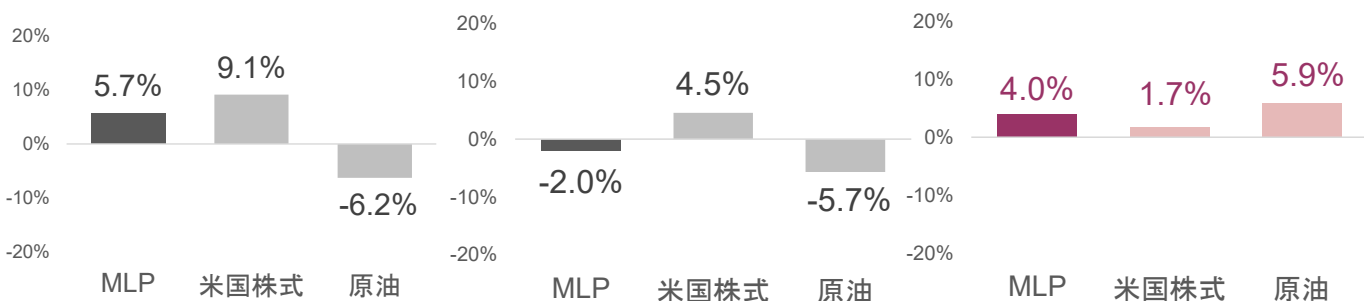
過去3カ月の主要指標の月次騰落率

(米ドルベース、トータルリターン)

2023年11月

2023年12月

2024年1月



MLP:S&P MLP 指数、米国株式:S&P 500 種指数、原油:WTI

主要指標の動き

休場の場合は、直前の営業日のデータを使用	指数値	指数値	指数値	指数値	騰落率		
	当月末	前月末	3カ月前月末	前年末	前月末比	3カ月前月末比	前年末比
	2024/1/31	2023/12/31	2023/10/31	2023/12/31			
S&P MLP 指数(米ドルベース)							
トータルリターン	7,680.63	7,384.81	7,132.33	7,384.81	4.0%	7.7%	4.0%
プライスリターン	1,549.09	1,500.43	1,461.03	1,500.43	3.2%	6.0%	3.2%
S&P 500種 指数(米ドルベース)							
トータルリターン	10,501.38	10,327.83	9,052.31	10,327.83	1.7%	16.0%	1.7%
プライスリターン	4,845.65	4,769.83	4,193.80	4,769.83	1.6%	15.5%	1.6%
S&P 500種 エネルギー株指数(米ドルベース)							
トータルリターン	1,414.42	1,419.77	1,434.48	1,419.77	-0.4%	-1.4%	-0.4%
プライスリターン	636.73	640.05	652.01	640.05	-0.5%	-2.3%	-0.5%
S&P 米国 REIT 指数(米ドルベース)							
トータルリターン	1,616.09	1,686.38	1,390.43	1,686.38	-4.2%	16.2%	-4.2%
プライスリターン	324.27	338.75	281.93	338.75	-4.3%	15.0%	-4.3%
米国ハイイールド債(ICE BofA 米国ハイイールド・インデックス(米ドルベース))							
トータルリターン	1,590.61	1,590.32	1,467.03	1,590.32	0.0%	8.4%	0.0%
プライスリターン	67.94	68.29	63.68	68.29	-0.5%	6.7%	-0.5%
米国10年国債利回り							
	3.91%	3.88%	4.93%	3.88%	0.03	-1.02	0.03
原油(WTI) 米ドル/1バレル当たり							
	75.85	71.65	81.02	71.65	5.9%	-6.4%	5.9%
天然ガス先物 米ドル/百万btu当たり							
	2.10	2.51	3.58	2.51	-16.5%	-41.3%	-16.5%
米ドル(対円)							
	146.92	141.04	151.68	141.04	4.2%	-3.1%	4.2%

※「米国10年国債利回り」の騰落率は、変化率(%)ではなく、利回りの変化幅を示しています。

(信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成)

※上記グラフ・データは過去のものであり、将来の市場環境などを保証するものではありません。

当月の出来事いろいろ

- 3日、米連銀総裁が、米経済が軟着陸する可能性は高まっているが、確実ではないと述べたほか、追加利上げの可能性も残っているとの見解を示した。米国株式市場は、ハイテク株だけでなく、景気敏感株や消費関連株なども利益確定や持ち高調整の売りに押され下落した。ただし、リビア最大の油田の操業が地元住民による抗議行動で停止したと伝わったことなどから、原油先物は上昇した。
- 5日に米国で発表された12月の非農業部門雇用者数が予想を上回ったほか、失業率は上昇予想に反して横ばい、平均時給は鈍化予想に反して加速した。これを受け、早期利下げ観測が後退したことから、米国債利回りは上昇した。ただし、原油先物は、米雇用統計の発表を受け、原油の需要に対する懸念が後退したことから反発した。
- 8日、前日にサウジアラビアがアジア向けの原油価格を2月に前月比2米ドル引き下げると発表したことを受け、原油先物価格が大きく下げた。また、欧米の国債利回りが低下したほか、エネルギー株は売られたものの、ハイテク株などが買われ、米国株式市場は続伸した。
- 18日に米国で発表された、13日までの週の新規失業保険申請件数および、6日までの週の失業保険継続受給者数が、ともに予想に反して減少(改善)し、それぞれ、2022年9月、2023年10月以来の低い水準となった。雇用関連指標の堅調さに加え、米週間統計で原油在庫が予想以上に減少したことなどから、原油先物が上昇した。
- 25日に発表された10-12月期の米GDP速報値は前期比年率+3.3%と、前期から鈍化したが、個人消費が堅調を維持したことなどから、予想を上回った。米経済が軟着陸に向かうとの期待の高まりを受け、米国株式市場では主要2指数が揃って最高値を更新したほか、原油先物が続伸した。

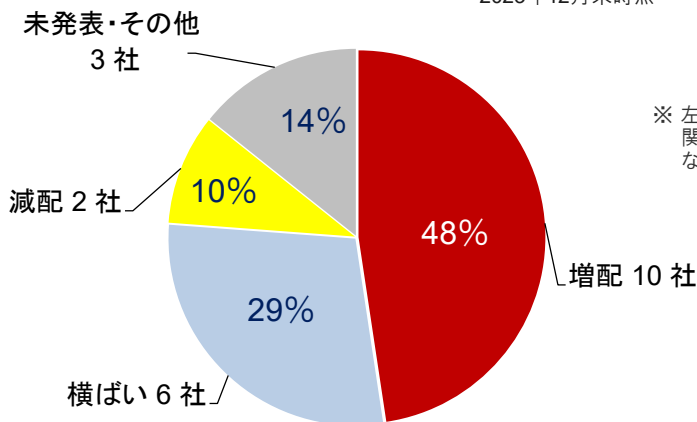
今後の注目点

- 2023年10-12月期のMLPの決算発表が注目される。

MLPの分配金動向

MLP各社は決算発表に先立ち、その期の分配金を発表するのが一般的です。1月から公表が始まっているMLPの2023年10-12月期の分配金は、指数構成銘柄(21銘柄、2023年12月末時点)のうち、**18社の発表が終了しており、前年同期比での増配が10社、横ばいが6社、減配が2社**となっています。

<S&P MLP 指数の構成銘柄*の分配金額(前年同期比)の動向>
2024年1月末現在 * 2023年12月末時点

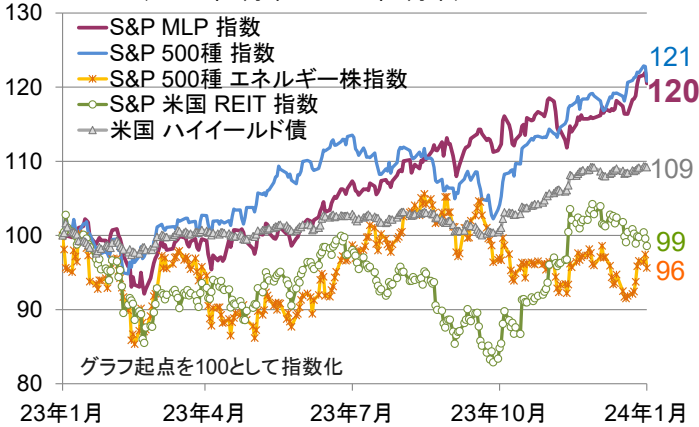


※ 左記の数値は四捨五入の関係で合計が100%とならないことがあります。

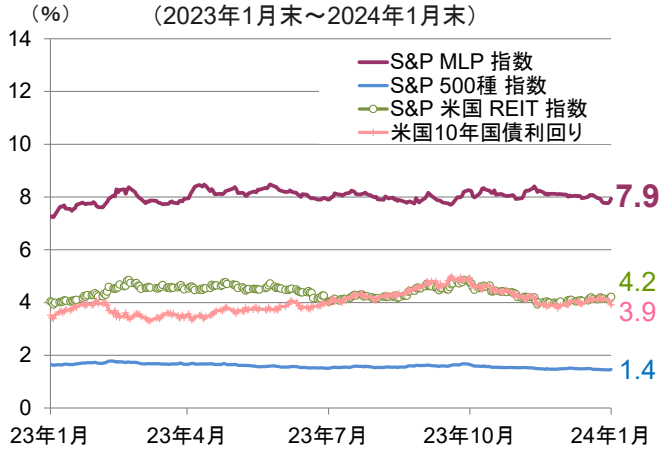
(信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成)

※ 上記グラフ・データは過去のものであり、将来の市場環境などを保証するものではありません。

■過去1年の指数の推移 (米ドルベース/トータルリターン)
(2023年1月末～2024年1月末)



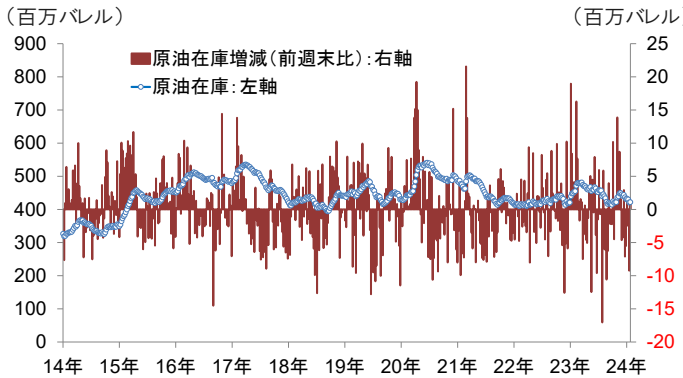
■過去1年の各資産の利回り
(2023年1月末～2024年1月末)



※各資産のリスク特性はそれぞれ異なるため、利回りだけで比較できるものではありません。
※上記利回りは切り捨てにて端数処理しています。

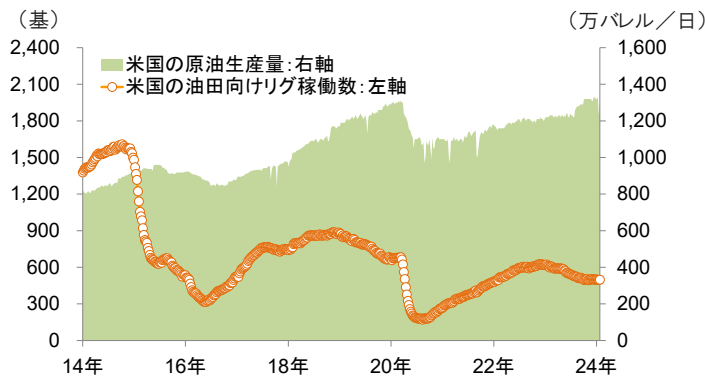
■米国の原油在庫

(2014年1月第1週末～2024年1月第4週末)



■米国の原油生産量と油田向けリグ稼働数

(2014年1月第1週末～2024年1月第4週末)



原油価格は、原油需給の影響を大きく受けます。一般的に、原油在庫が増えれば(減れば)、需給緩和懸念(引き締め期待)から、原油価格は下落(上昇)する傾向がみられます。また、油田向けのリグ稼働数が増え(減り)、原油生産量が増える(減る)と、需給緩和懸念(引き締め期待)などから、原油価格は下落(上昇)する傾向がみられます。

■原油価格と米ドル指数*

(2014年1月初～2024年1月末)



*米ドル指数は主要通貨に対する米ドルの水準や動きを示す指数です。

原油は、米ドル建てで取引されることから、米ドル相場の影響を受ける傾向がみられます。米ドル安基調に振れる場合、割安感などにより、原油価格に押し上げ圧力が働く可能性が考えられることから、米ドル相場の動向には注視が必要です。

(信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成)
※上記グラフ・データは過去のものであり、将来の市場環境などを保証するものではありません。

※当資料に示す各指数の著作権等の知的財産権その他一切の権利は、各指数の算出元または公表元に帰属します。